

## 資料提供



提供年月日：平成 26 年(2014 年)8 月 19 日  
所属名：(公財) 淡海環境保全財団  
担当者：川端  
電話：077-569-5301  
E-mail：mlf@ohmi.or.jp

所属名：滋賀県琵琶湖政策課  
担当者：望月、森  
電話：077-528-3461  
E-mail：dk00@pref.shiga.lg.jp

# 『マザーレイクフォーラム 第4回びわコミ会議』 8/23(土)開催!!



琵琶湖やその周辺のさまざまなフィールドで環境保全活動に取り組む県民・市民団体・企業・行政・専門家などが、立場を超えてお互いの経験や思いを共有し、琵琶湖の将来のために話し合う「マザーレイクフォーラム びわコミ会議」を、コラボしが21(大津市)で、8月23日(土)10:30から開催します。(主催：マザーレイクフォーラム運営委員会および滋賀県)

「琵琶湖総合保全整備計画(マザーレイク21計画)」が平成23年10月に第2期計画として改定され、「琵琶湖流域生態系の保全・再生」と「暮らしと湖の関わりの再生」という新たな方向性が位置づけられた際、琵琶湖流域の総合保全を多様な立場の方が協働し主体的に推進していく仕組みとして、平成24年3月に「マザーレイクフォーラム」が設立されたところであり、県内外のNPO・企業・研究者・農林漁業者などが参画されています。

「びわコミ会議」は、そのような関係者が一堂に会する場として毎年開催しており、会議名の“びわコミ”には、琵琶湖と、英語のコミュニティ(=地域)、コミュニケーション(=対話)、コミットメント(=約束)の意味が込められています。

第4回目となる今年の「びわコミ会議」では、『つながったから、見えてきた!「マザーレイク」の新しいカタチ』をテーマに、様々な主体が協働・連携して取り組んできた活動の成果に注目します。午前中の第一部では、森・川・湖・里(暮らし)・海を代表する5つの先進的な取り組みの報告や琵琶湖の現状について聞くとともに、午後からは、参加者が9つの小グループに別れて、それぞれ異なるテーマについて話し合い、議論と交流を深めます。また、会場では約25の展示ブースによる団体活動発表も行われます。

なお、当日の司会は、“ミスターびわ湖”として滋賀を中心に幅広く活動されておられる川本勇氏をメインに進行します。

## 【詳細情報】

- 1 名称 マザーレイクフォーラム びわコミ会議（第4回）  
『つながったから、見えてきた！「マザーレイク」の新しいカタチ』
- 2 日時 平成26年8月23日（土） 10：30～16：30
- 3 場所 「コラボしが21」 3階大会議室他（大津市打出浜2番1号）
- 4 定員 200名（先着順・無料）
- 5 内容 第一部（午前）および第二部（午後）の2部構成  
【第一部】 **みんなつながる報告会** 10：30～12：00
  - ・NPO・企業・学校・行政等が協働して保全活動に取り組んできた5つの事例報告を聞き、その成果や課題を共有します。
  - ・今年は、琵琶湖流域からの報告に加え、愛知県三河湾プロジェクトからの報告もあります。
  - ・琵琶湖の最新情報も「びわ湖なう」として報告します。【昼休憩】 12：00～13：15
  - ・各展示ブースを自由に訪問。【第二部】 **びわ湖のこれから話さへん？** 13：15～16：30
  - ・参加者が、様々なテーマの9つの小グループに別れて話し合います（見学だけでもOK）。
  - ・その後、ふたたび全員で集まり、各テーブルから出された「キーセンテンス」などをもとに、みんなのコミットメント「びわ湖の約束」を考え、発表します。
- 6 ブース出展  
会場のエントランス部分に各団体のブース出展エリアを設けて、琵琶湖やその流域を守る活動をされている団体等の皆さんに、無料で日々の活動を来場者の方に紹介していただけるブースを設置します。（先着25団体程度）
- 7 主催 マザーレイクフォーラム運営委員会・滋賀県
- 8 参加申込・ブース出展申込・各種問い合わせ先  
【マザーレイクフォーラム運営委員会事務局】  
（公財）淡海環境保全財団 川端  
〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108 淡海環境プラザ2階  
TEL 077-569-5301 FAX 077-569-5304 Email mlf@ohmi.or.jp
- 9 その他 詳細については、みんなの情報交流サイト「マザーレイクフォーラム」  
<http://mlf.shiga.jp/> をご参照ください。